

新湯川

【しん・ゆがわ】

ふれあいとやすらぎの清流をめざして

湯川放水路水環境整備事業のあらまし

新湯川(湯川放水路)って、どうしてできたの？

新湯川ができるまでは、大雨になると湯川と日橋川にっぽしがわが合流するあたりでたびたび洪水が起きて、このあたりに住んでいた人たちが大変困っていました。そこで、湯川上流の東山ダムで洪水の調節を行うとともに、阿賀川あががわへの近道をつくることで洪水を防ごうと、昭和9年から昭和33年にかけてつくられたのが、この新湯川です。

現在では、東山ダムと一緒に洪水から皆さんを守っています。



新湯川航空写真



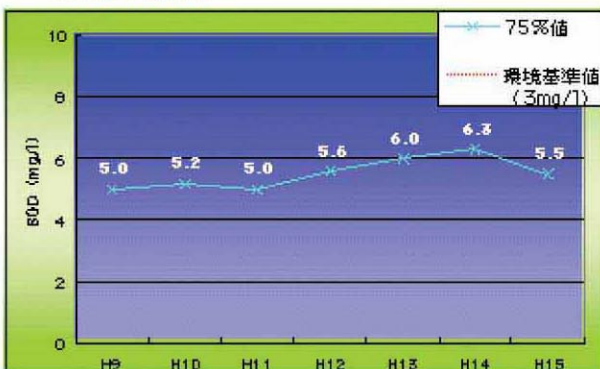
新湯川では、何が問題になっているの？

新湯川には家庭や工場などからの汚れた水が流れ込んでいたり、冬には川の水が少なくなるのでさらに汚くなります。また、暖かくなると川の汚れた泥からは臭いも出てくるので、川で暮らす生き物だけでなく、新湯川のまわりに住む人たちにとっても、良い環境とは言えません。水質が改善され、環境基準値を下回るようになれば、アユなどのきれいな川にすむ魚も新湯川で見られるようになります。



ふるかわごうりゅうてん
古川合流点

■新湯川における水質 (BOD75%値) の経年変化



新湯川にたまったゴミの様子

湯川放水路水環境整備事業って、なに？

この事業は、家庭から出るよごれた水や、川の水が少ないせいで汚れてしまっている新湯川の環境を改善し、鳥や魚などの生き物たちがすみやすく、皆さんにも親しんでもらえるような川づくりを目指すものです。川の環境をより良くするために、国土交通省をはじめ、新湯川に関わりの深い人たちや住民の皆さんと一緒に取り組んでいくものです。



整備前の新湯川 平成11年3月



整備後の新湯川 平成15年7月



新湯川の現状 平成16年7月

組織のとりくみ

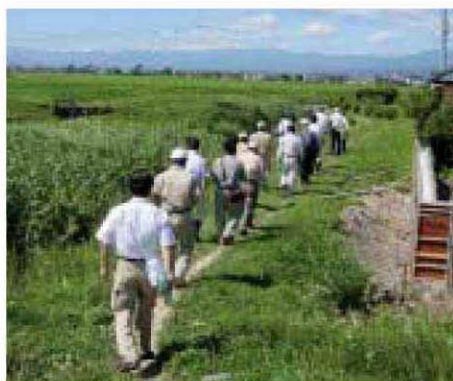
国土交通省・阿賀川河川事務所は、会津若松市、福島県、そして湯川に関わりのある人たちや周辺住民の皆さんとこれからの湯川のあり方について話し合い、協力しながら事業を進めています。

湯川水環境協議会

湯川水環境協議会では、川にすむ生き物に詳しい人や、田んぼや畑に湯川の水を使っている人などが集まって、環境を改善するための方法や、これからの新湯川をどのようにしていくかということについて考えています。



第7回湯川水環境協議会



現地視察会



第8回湯川水環境協議会

整備内容の紹介

汚泥の浚渫と低水路の整備

新湯川には、汚い水によってよごれた泥がたくさんたまっていました。この泥も生き物がすみにくい環境となってしまった一つの原因です。

私たちは、この汚れた泥を取り除いて魚や鳥たちに喜んでもらえるような川の流れをつくりました。



汚泥の堆積状況

浚渫のイメージ

浄化施設の整備

新湯川には、まわりの家庭などから出された水が入ってくる排水樋管が5つあります。このうち、特に水の汚れている樋管と新湯川橋下流で合流する支川の南四合川には、水をきれいにしてから新湯川に入れるための施設を整備しました。



木炭浄化施設

排水樋管の浄化施設

樋管の改築

湯川洗堰と湯川樋管は湯川の水を旧湯川と新湯川に分けるはたらきをします。また、洪水のときには、旧湯川の水を少なくして、下流に住むみなさんの安全を守ります。



湯川樋管

あががわ木炭庵ひろば

水辺の環境学習の拠点として活用できるような施設・広場を整備しました。

木炭庵は、阿賀川の伐採木を利用して木炭を製造し、浄化施設で使用しています。

情報表示板は、水環境に関する情報や、イベントの案内等を表示します。



木炭庵ひろば航空写真



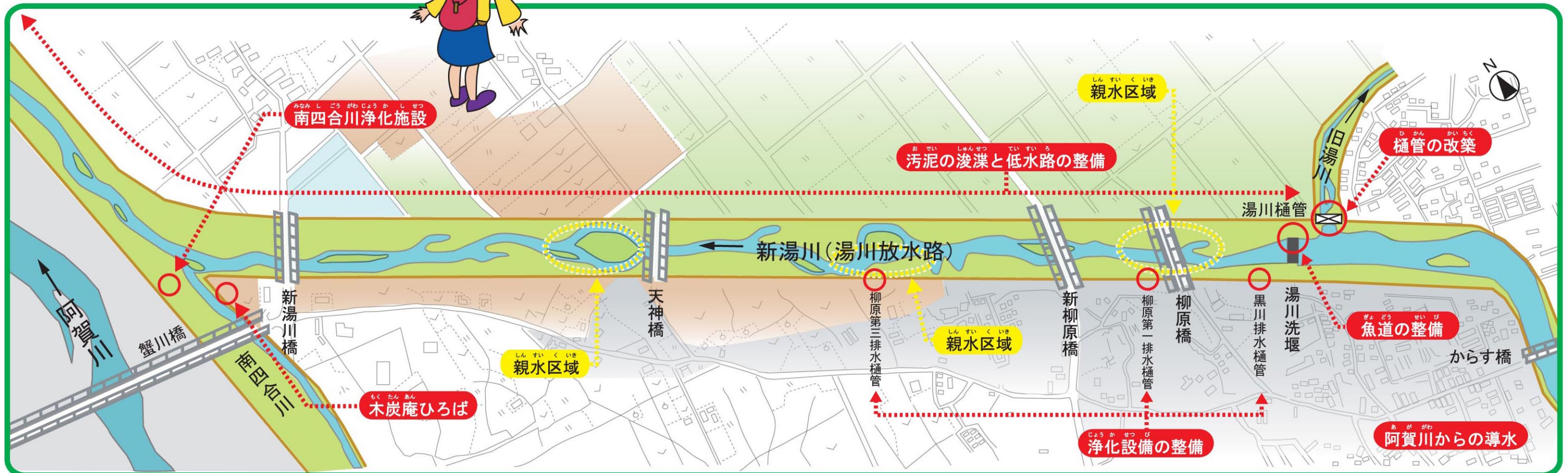
木炭庵

阿賀川からの導水

湯川の水の量が少ない時には、新湯川の水量はとても少なくなり、水質も悪くなるので生き物がすみにくく、人も利用したくない状態になります。このため、阿賀川からきれいな水を分けてもらい、湯川に流すことできれいにすることを目指して取り組んでいます。

魚道の整備

旧湯川に水を流すための施設である湯川洗堰には、魚道が設置されていないため、魚類は堰上下流の自由な移動ができなくなっています。そこで、魚道を設置して、新湯川～湯川上流を連続して魚類が利用できるように改善します。



清流ルネッサンスⅡ

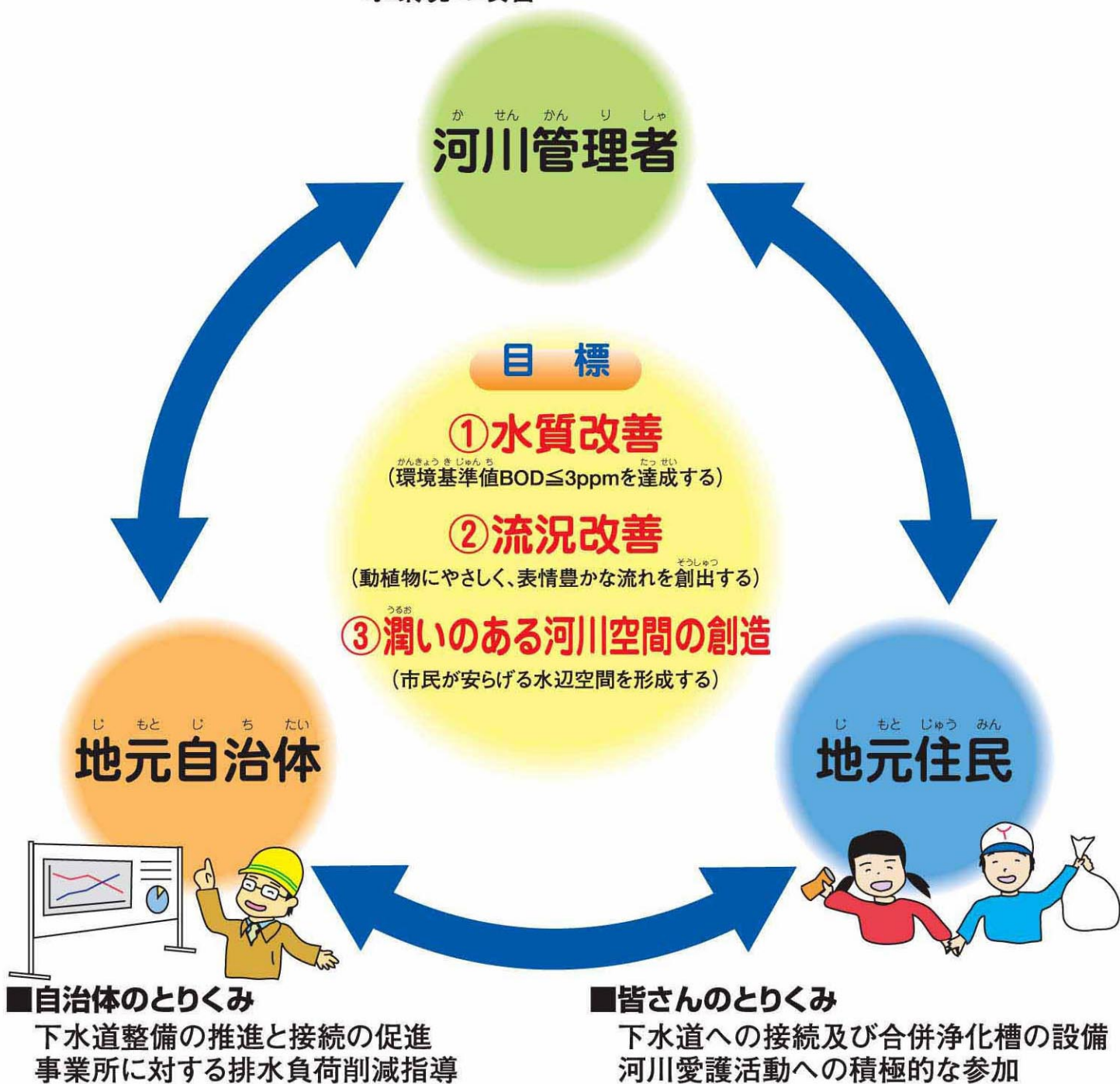
21世紀をむかえ、川を管理する国土交通省は、できるだけ早く環境を改善する必要がある川や湖を対象に、「第二期水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンスⅡ）」をつくって、地元自治体や市民の皆さんと一緒に事業に取り組んでいくことになりました。

これは、汚れてしまった川に清らかな流れを取り戻すことを目的としています。

これまで新潟川では、水環境を改善するためのさまざまな活動や話し合いを行ってきました。このような活動が評価され、新潟川（湯川放水路）がこの計画の対象河川の一つに選ばれました。これからも新潟川がもっときれいな川になるように皆さんと協力していきます。

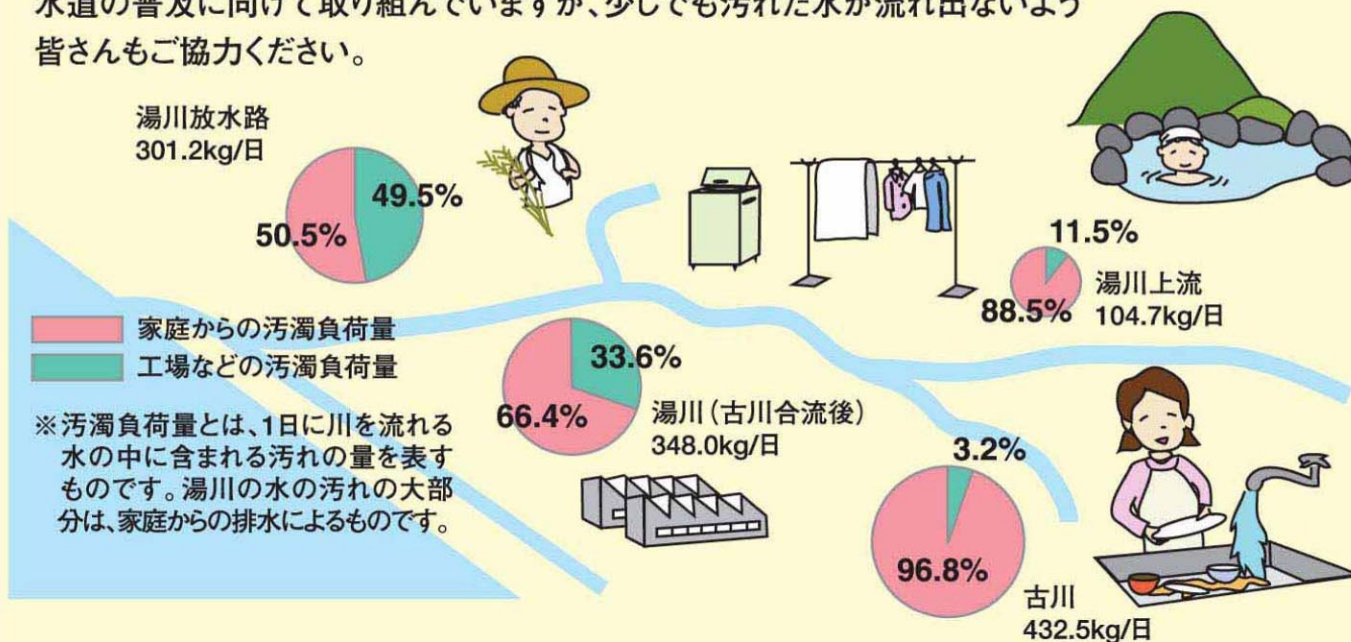
■国土交通省の事業、とりくみ

湯川放水路水環境整備事業による
水環境の改善



家庭から出される水も水質悪化の原因です。

下水道の整備が遅れている地域では家庭から出る雑排水が直接河川に流れ込むため、これも水質悪化の一つの原因となっています。会津若松市では下水道の普及に向けて取り組んでいます、少しでも汚れた水が流れ出ないように皆さんもご協力ください。



[流域下水道整備総合計画]における平成7年度の汚濁負荷量

家庭でできる 新湯川への思いやり

台所用洗剤は薄めて使いましょう。

台所用の洗剤液は濃いからといって洗浄力が強いわけではありません。一般的な液体洗剤なら1リットルあたりの水に軽くひと押しする程度の洗剤で十分、濃縮タイプならもっと少量でもOKです。



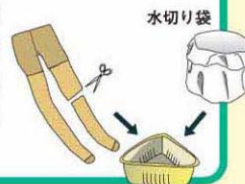
食器洗いは油をふき取ってから。

食器や鍋の油污れは、洗う前に古新聞などのいらなくなった紙でふき取っておきましょう。洗う水や洗剤の量を減らすことができます。



水切り袋を使って小さな生ゴミもキャッチ。

三角コーナーは、水切り袋を使ってごはんつぶなどの小さな生ゴミまできちんとキャッチしましょう。水切り袋の代わりに古いストッキングも使うことができます。



廃油は燃えるゴミとして捨てましょう。

使い終わった油は市販されている油凝固剤、吸油材などを古新聞、ぼろ布などを入れた牛乳パックにそそいで染み込ませてから、燃えるゴミとして捨てましょう。



お米のとぎ汁は植木用に。

お米のとぎ汁も川をよごす原因となっています。とぎ汁は植木の水として、使うことができます。



市民団体の活動紹介

湯川の水環境を考える市民の会

平成12年に発足した湯川の水環境を考える市民の会は、湯川の環境を少しでも良くしたいと考えている人たちが集まり、昔の清流を復活させるにはどのようなことができるのかを話し合っています。また、湯川のゴミ分布調査や定期的に清掃大会を開催するなどの活動を行っており、このパンフレットの作成も、湯川の環境改善の取り組みの一つとして実施しました。



みどりまちきゅうかわかせんあいごかい 緑町旧湯川河川愛護会



人々が手を取り合
って旧湯川を汚濁
から守り、河川美
化を積極的に進め
ていくことを目的に

昭和63年に設立されました。清掃活動や河川敷・堤防の除草作業の他に、緑町小
河川敷・堤防の除草作業の他に、緑町小
河岸公園緑化愛護会を立ち上げ、人々が
川に親しめるように河川公園の花壇に花
を植えるなどの環境作りにも取り組んでいます。

湯川を美しくする会

湯川にきれいな流
れを取り戻すことを
目的に昭和55年に
設立されました。地
域住民のみなさん



に協力を呼びかけ
て、川の中の清掃活動や草刈りの他に、
水の中に住む生き物の調査や家庭からで
る生活雑排水を少なくしようと、湯川の管
理をする人に「こんなことをしてほしい」と
いう意見・要望を出すことで、川の美化に
日々尽力しています。

じょうさいまちかんきょうえいせいふかい 城西町環境衛生部会

城西町環境衛生部会は町内会の1組織で、
生活雑排水により汚れてしまった古川に
も、魚やホタルの住める環境を取り戻す
ことを目的に活動しています。月1回の
清掃活動を始め、地域住民の方々に川を
きれいにするための呼びかけ、川を管理
する人へより良
い川とするため
の意見・要望を
行うなど、日々
河川環境の改善
に努めています。



■ 問合せ先

国土交通省 阿賀川河川事務所 工務課

〒965-8567 会津若松市表町2-70 TEL.0242-26-6441

ホームページアドレス <http://www.hrr.mlit.go.jp/agagawa>

■ 編集協力

湯川水環境協議会